

# ものこと双発研究部門 Things and Systems Research Institute

設置期間：2015年04月01日-2020年03月31日

## 【メンバー】

(部門長)	経営学研究科 : 教授	関 孝則
(併任教員)	経営学研究科 : 教授	田中 芳夫
(併任教員)	経営学研究科 : 教授	坂本 正典
(併任教員)	経営学部経営学科 : 教授	大沼 宏
(併任教員)	理工学部経営工学科 : 准教授	石垣 綾
(客員教授)	電気通信大学 情報工学科 : 教授	沼尾 雅之
(客員教授)	(独) 産業技術総合研究所 : 人工知能研究セツ副セツ長	本村 陽一
(客員教授)	(独) 産業技術総合研究所 : 連携企画室長	美濃輪 智朗
(客員教授)	年金積立金管理運用独立行政法人 :	山下 隆
(客員准教授)	セコム(株) : 企画部 : 主任総合ファシリテーター	沙魚川 久史
(客員准教授)	東京理科大学インベストメントマネジメント : 代表取締役社長	片寄 裕市
(客員研究員)	東京理科大学インベストメントマネジメント : 取締役	高田 久徳
(客員研究員)	三菱電機(株) : 知的財産渉外部	佐藤 智文

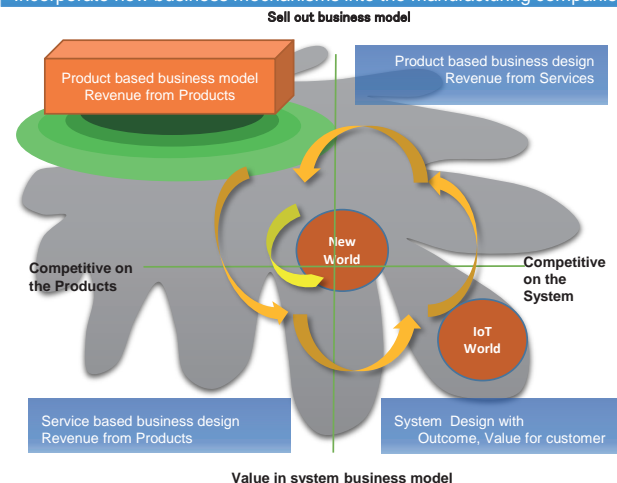
## 設立目的・研究テーマ

### 【設置目的】

“ものづくり”主体の産業構造から“もの・ことづくり”へと変革発展させるあり方を製造・サービス・ITの観点から調査・研究し、広く社会に啓蒙して新しいビジネスデザインを提案することを設置目的とする。

これまでの事例研究は、製造業視点のものが中心となっており“ことづくり”に視座をおいた実践的な研究事例はほとんど見られない。産業界にとって、新たな競争力を獲得する仕組みづくりについて、製造、サービス、ICTの観点から調査・研究を行い、広く社会に啓蒙し提案していく必要がある。

Incorporate new business mechanisms into the manufacturing companies.



### 【研究テーマ】

- **サービスIT** : 社会のサービス化全般について、製造／サービス問わず効率化・情報化・価値均質化について検証。
- **ものことづくりマネジメント** : グローバル展開へと変容が進む昨今のマネジメントシステム転換のプロセスないし人材／組織について技術経営面から研究。
- **コンピュータ・データサイエンス** : データと人間社会との関係性について、システムの相互運用性・データ解析・セキュリティ／プライバシー・現実世界へのフィードバック手法などを対象に研究。
- **実践ケース** : サービスや継続ビジネスなど“ことづくり”に視座をおいたの実践ケースを調査。
- **Design Thinking** : デザイン思考アプローチを調査。
- **Fintech** : 付加価値を創造しこれまでにない金融サービスを顧客に提供するためのパラメータ調査。

## 設置に際しての基盤研究成果とそれに基づく研究戦略

### 【基盤研究成果①】ものこと双発協議会 研究会のWG (2016年3月まで)

WG1a ものことづくりリサーチ1	「顧客価値」を継続的に高めていけるかが重要な課題と捉え、事業創造のなかで起きる方向性の転換(Pivot)に着目した。各社のPivot事例を類型化してことづくりを分類した。
WG1b ものことづくりリサーチ2	ものこと ≡ BUSINESS DESIGN という仮説を提案。「もの」「こと」の「要素」と「注視すべきポイント」のマトリクス・競争レイヤの変容について整理した。
WG2 ものことづくり人材・組織	ものことを起こすための組織設計ガイドラインができないか。(1)エグゼクティブレベルの視点、(2)チームの視点、(3)マーケティングの視点の3ポイントから取りまとめた。

### 【基盤研究成果①】ものこと双発協議会 研究会のWG (2017年3月まで)

WG1 今後のものこと双発におけるイネーブラー	事例から4つ「変化への危機感」「コア技術、新規技術の有効活用」「リーダーの情熱と牽引力」「会社を超えたコラボ」を実現要素で抽出
WG2 仮想会社でみるものこと双発	仮想会社を「見本市ビジネス」を題材にCEO、CTO、CMO、CHOの立場でロールプレイし、ものこと双発の典型的課題など整理
WG3 ものこと双発ネイティブ人材を育てるには？	人材面について検討。異能の集まりの協働で、新たな統合を生む人材、その協働をまとめる人間力ある増幅型リーダーが重要な要素と整理
WG Fintech	これまでに付加価値の金融サービス分野として、ESGとりあげ定量分析。

### 【基盤研究成果①】ものこと双発協議会 研究会のWG (2018年3月まで)

WG1 今後のものこと双発におけるイネーブラー	コトの本質である環境変化性から「コンセプトと顧客想定と提供価値案」「共栄と進化の仕組みの構築」を実現のためのステップとして抽出
WG2 仮想会社でみるものこと双発	「健康ビジネス」を仮想で想定し、TUS学生を対象として、真の消費者ニーズ、こと価値創造を体験させ、教育的観点を考察
WG3 ものこと双発の人材・組織・変革モデル	組織とリーダーから、その先にデジタル変革を起こすパターンを分析。部分か一気に全体か、トップダウンかボトムアップかネイティブか、リーンかバイモーダルかの作戦の組み合わせでまとめた。

## 基盤研究成果とそれに基づく研究戦略

### 【基盤研究成果②】社会発信 (2017年度以降)

#### <学会・シンポジウムによる議論発信>

経団連21世紀研究所シンポジウム	「オープンイノベーションの収益化～エコシステムにおける戦略を考える」/パネル 2017.4、(田中)
Open Innovation 2.0 2017 Conference by European Committee Romania	Keynote “National innovation ecosystems, example EU-Japan” 2017.6 (Tanaka)
日本における ESG 投資のこれから /Amundi・ものこと双発研究部門	ESG関連でオープンイノベーション、パフォーマンス、環境経営など 2017.12 (田中・山下・佐々木・大沼)
知財学会第15回年次研究発表大会	「デジタルトランスフォーメーションによる機能性の拡張」など 2017.12 (沙魚川・関・佐藤)
ものこと双発学会・協議会	年次研究発表大会 2018.3、(田中・沼尾・梶本・関・沙魚川・佐藤)

#### <招待講演>

組込みシステム技術協会「ET/IoT総合技術展関西」	「顧客体験を変えるIoT」2017.7、(関)
中部産業連盟、未来展	ものこと双発とオープンイノベーション」2017.8、(石垣)
Profuture, HR Summit 2017	「‘もの’から‘もの’ど‘こと’双発のシステム発想へ」2017.9(田中)
科学技術振興機構・未来研究開発検討委員会, 未来研究トーク	「社会を巻き込むものづくり」2017.9(沙魚川)
Global Forum 2017 (European Committee supported)	Keynote “Proposal for national business ecosystem” 2017.10 (Tanaka)
日経経済新聞社, Co-Creation“共想”フォーラム	「創造的対話によるサービス創造と進む“共想”」2017.11(沙魚川)
渋谷区100人カイギ Vol.2	「渋谷で生まれる創造的対話」2018.1(沙魚川)